



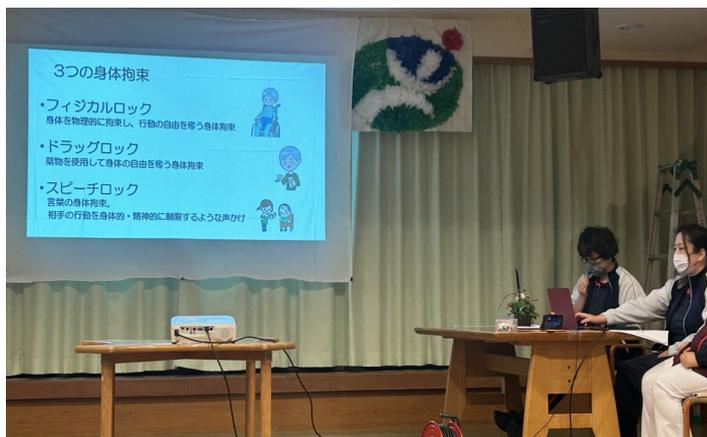
# 令和6年度 内部研修会 No.4 施設の取り組み 報告

## ～スキルアップ・セミナー～ 身体拘束適正化について ～高齢者の拘束、不適切ケアについて～

10月30日に身体拘束についての研修会を実施しました。今回は、老人保健施設の介護部副主任に講義を行っていただきました。

身体拘束を実施せざる負えない状況だと判断するためには、「切迫性」「非代替性」「一時性」の3要件を満たしているかを判断しなければならないことや、拘束行為には、「フィジカルロック」「ドラッグロック」「スピーチロック」など、様々な要因で引き起こされてしまうということを伝えていただきました。

また、身体拘束ということが利用者様にとって人権を侵害してしまう行為であるということ。だからこそ常に、身体拘束をせず安全を確保ができる方法を模索していくことが必要であるということを改めて考える良い機会になりました。



医療法人社団 青山会  
復井診療所 介護老人保健施設オパール



令和6年10月31日  
研修企画委員会